※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	保育基礎　ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ　（教育図書）						
副教材等	保育基礎　ワークノート　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

乳幼児の発達の特徴や保育に関する知識と技術を、実習を交えながら学びます。子どもの健全な成長を図る能力と態度がはぐくまれます。
実習は地域のこども園、和泉市の育児支援と連携して行います。

学習方法
〇保育に関わる課題について思考を深め，課題を発見する。
〇実際に乳幼児とふれあう学習など，実践的な学習活動を行う。
〇周りの生徒と共同しながら主体的に学び，保育に関わる知識や技術を身につける。

2　学習の到達目標

保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴，子どもの福祉や文化について理解し，関連する技術を身につけ，保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ,その解決をめざして思考を深め,適切に判断し,工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち,意欲的に学習に取り組み,子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	1章　子どもの保育	**1節　保育の意義** 1　保育とは 2　保育の意義	a: 保育の意義と重要性、保育者の役割を理解している。 b:保育者の資質や能力を身につけるために考察ができる。 c:主体的に学習に取り組んでいる。	・プリント ・学習ノート ・作品	・作品 ・学習ノート	・実習レポート ・出席
		2節　保育の方法	a: 発達時期の特性を知り、それを考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。 b:保育者観についての考察を深めることができる。 c:主体的に学習に取り組んでいる。			
		3節　保育の環境	a: 保育の現状や，保育環境の特徴や役、保育環境の重要性を理解している。 b:今後の保育の課題について理解し，適切な保育環境について考察する。発達課題に応じて，接し方・援助の仕方など適切な保育環境について考えを深める。 c:主体的に学習に取り組んでいる。			
前期	2章　子どもの発達	**1節　子どもの発達の特性** **2節　子どものからだの発達** **3節　子どもの心の発達**	a: 乳幼児の発達の特性、発達の過程を理解する。 b: 乳児期の愛着の発達が重要であること、愛着関係の形成過程について学び，人間関係のひろがりについて考える。 様々な側面から，子どもの心の発達をとらえる。 c:主体的に学習に取り組んでいる。	・プリント ・学習ノート ・作品	・学習ノート ・作品	・実習レポート ・出席

※令和４年度以降入学生用

後期	**4章　子どもの文化**	**１節　子どもの文化の意義と支える場** **２節　子どもの遊びと表現活動**	a:遊びを通じて子どもが豊かに発達することについて理解している。子どもの発達や特性をふまえた上で，子どもの遊具等の作成に取り組み，子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につけている。 b:保育者からの働きかけを考え，遊びの援助ができるようにする。 c:　子どもの遊びと遊具や表現活動の意義や重要性を理解した上で，具体的におもちゃ等を作るなどの活動に主体的に取り組む。			
後期	3章　子どもの生活	**1節　子どもの生活と養護** 1 生活と健康 2 栄養と食事 3 衣生活 **2節　生活習慣の形成** 1子どもの生活習慣 2基本的生活習慣 3社会的生活習慣 **3節　健康管理と事故防止** 1子どもの健康管理 2事故の防止と応急処置	a:　子どもが心身の健康を保つための保育の技術を、実習を通して理解し身につける。子どもの事故防止や安全な環境整備にはどのような配慮や準備が必要か具体的事例とあわせて理解する。 b:基本的生活習慣と社会的生活習慣の意義と重要性を理解し，子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考える。子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について思考を深めている。 c:　子どもの生活に関心を持ち，主体的に子どもの生活を理解しようとしている。	・プリント ・学習ノート ・実習	・作品 ・学習ノート	・実習レポート ・出席

※令和４年度以降入学生用

	5章　子どもの福祉	**1節　子ども観** 1　子ども観の変遷 2　権利の主体としての子どもへ **2節　子どもの福祉** 1児童福祉 2子どもをとりまく課題と対策 3子どもが育つ社会環境 **3節　子育て支援** 1子育て支援からパートナーシップへ 2社会的養護 3地域の子育て支援	a:時代の変化と共に子どもが権利の主体として尊重する考え方が世界で共有されつつあることを理解する。子どもの福祉に関心を持ち，児童福祉の理念や法律と制度について理解する。子どもを地域や社会で支える子育て支援の具体的な場や制度について理解する。 b:　児童福祉の基本的な考え方を理解し，子どもの幸せとは何かを考える。また，子育て支援の今後の課題と展望について考察する。子どもの幸福や児童虐待の現状と対策について自分の意見や考えをまとめることができる。子育ての現状をふまえて，これからの子育て支援を考えている。 c:　学習に主体的に取り組む。			

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度